



卒論事始め！

～スケジューリングとテーマの決め方～

博士後期課程

池田 和希



0. 自己紹介

- 池田和希
- 所属：博士後期課程 国際社会専攻
- 学部：外国語学部イタリア語科
- 専門：比較政治学・イタリア政治
- 研究テーマ：「ベルルスコーニの政治手法」
- LCシフト：火13時～15時、木12時～15時、金14時～16時
- 同居人：クランウェルツノガエル、バジェットガエル、カメ、熱帯魚たち



0. 本日の内容

- ▶ 卒論のスケジュールリング
 - 年間スケジュールと週間スケジュール
- ▶ 卒論のテーマ決め
 - テーマ決定のプロセス
 - 「問い」の挙げ方
 - 「問い」の絞り方のプロセス

1. スケジューリング

1.1. 卒論執筆の大まかな流れ

▶ 論文執筆とは？

- ① 資料を集め、
- ② 整理しながら思考し、
- ③ 何らかの結論を導き出し、
- ④ その上で、結論だけではなく、作業プロセスを論述という形で表現すること

(花井・若松 2012,4)

1. スケジューリング

1.1. 卒論執筆の大まかな流れ

- ◆ テーマ決め
- ◆ 章立て（全体像を描く）
- ◆ 内容の執筆
- ◆ 参考文献・資料収集
- ◆ 目次、図表一覧、略語一覧、文献目録の作成
- やっておいただ方がいいこと
指導教官との相談
⇒教官が忙しければゼミの先輩、同期、院生など

1.2. 週間スケジュールの管理

- ▶ 論文執筆での自己管理
- ▶ 案外やることが多い！

Ex. 先行研究の読み込み
データの収集・分析
史料の読み込み
論文の執筆

	月	火	水	木	金	土	日
午後	ゼミ	報道 チェック 博論文献	他大TA	博論文献	リンス研究会	博論データ 収集	博論データ 収集
夜	ゼミ文献	家庭教師	ゼミ文献	家庭教師		ゼミ文献	政治史
備考	夕方： 家庭教師授業				夕方： 家庭教師授業		



1.3. 院生の執筆スケジュールの事例

▶ 別紙をご参照ください！





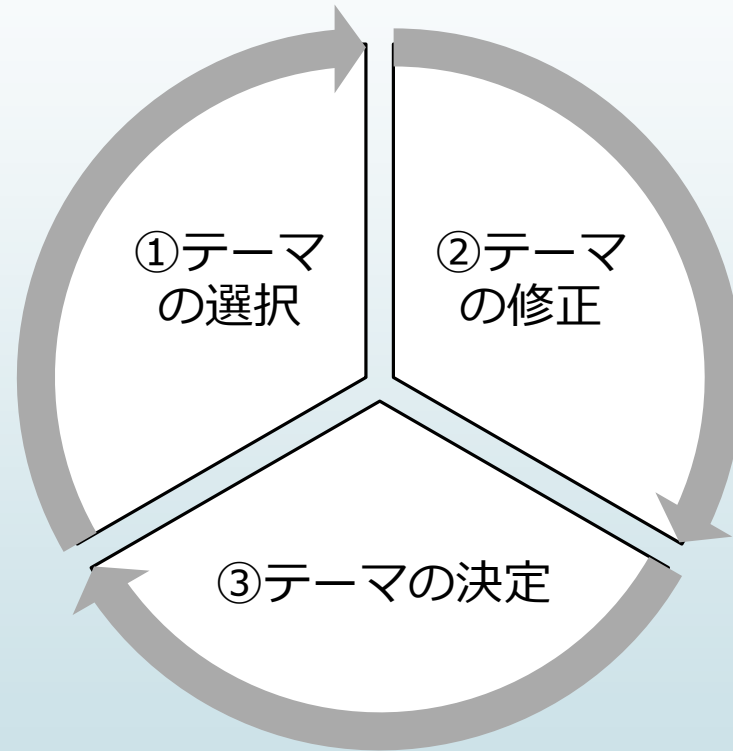
2. テーマの決め方

2.1. 卒論の「テーマ」とは ～その要素と条件～

- 研究をする、あるいは論文を書く対象となるような分野や範囲（河野 2010,56）
- 条件
 1. 限定されたものである。
 2. 執筆のための材料が得られるテーマである。
⇒ 「自分の力と事情に応じたテーマ」（齊藤・西岡 2006,22）

2. テーマの決め方

2.2. テーマ決定プロセスのイメージ



「絶えざる修正と絶えざる改定という
試行錯誤の連続」

(齊藤・西岡 2006,26)



2. テーマの決め方

2.3. 「エリア」の選択

- 「自分のエリア（専門分野・範囲）はどこなのか？」
（どこに、何に関心があるのか？）
Ex.政治学？歴史学？言語学？
Ex.どの地域？
- 各分野の入門書・概説書／関連分野の学術雑誌
＝対象（テーマ）に挑むための道具（齊藤・西岡 2006,21）

2. テーマの決め方

2.4. 問いの挙げ方

■ 5W1H⇒疑問形で書き出す（花井・若松 2012,11）

- ① What（事象）
 - ② When（時間）
 - ③ Where（空間）
 - ④ Who（人物）
 - ⑤ Why（理由）
 - ⑥ How（経過、手段）
- 事実関係
- 分析

2. テーマの決め方

2.4. 問いの挙げ方～具体例～

▶ 「カタルーニャ独立」を例に

① What (事象)

- カタルーニャが独立を検討する際に、カタルーニャにとっての利益とは何だったのか。

② When (時間)

- カタルーニャの独立に対する態度に変化があったとすればいつか。

③ Where (空間)

- カタルーニャの中でもどの地域で独立の気運は強かったのか。

④ Who (人物)

- カタルーニャ独立の発端となった政治家は誰なのか。

⑤ Why (理由)

- カタルーニャがスペイン独立を検討したのはなぜか。

⑥ How (経過、手段)

- スペイン政府のカタルーニャへの関与はどのように行われてきたのか。

2. テーマの決め方

2.4. 問いの挙げ方～やってみよう！～

▶ お題：「トランプ大統領誕生」

① What (事象)



② When (時間)



③ Where (空間)



④ Who (人物)



⑤ Why (理由)

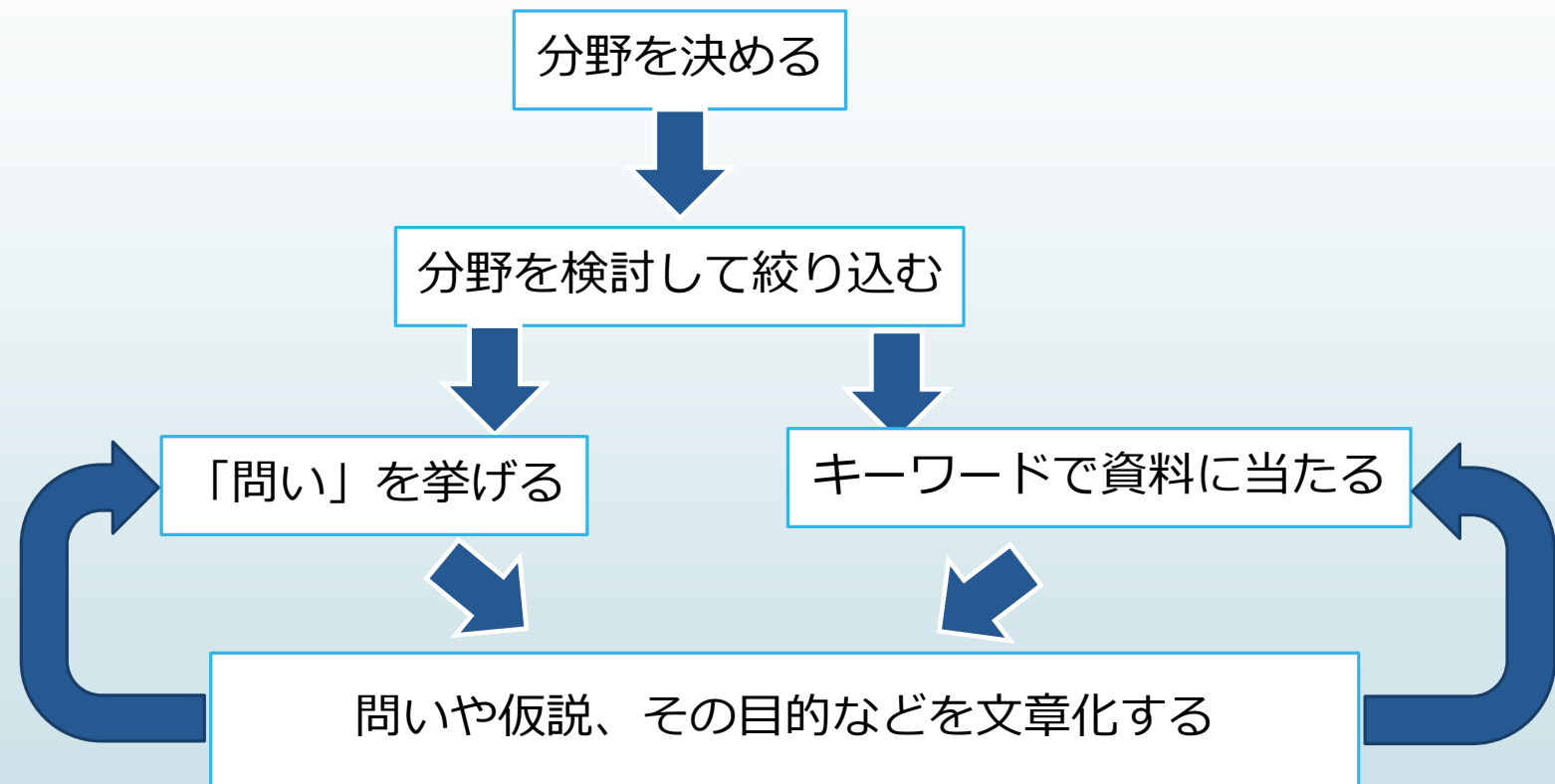


⑥ How (経過、手段)



2. テーマの決め方

2.5. 問いの絞り方のプロセス





2. テーマの決め方

2.6. テーマ・問いの例

▶ 後々行き詰まる例

- 「権力とは何か」
- 「現代におけるマス・コミュニケーションの変化」
- 「欧州単一通貨ユーロが導入されたのはいつか」

▶ 上手く行く例

- 「国内政治における権力と国際政治における権力の違いは何か」
- 「2000年代におけるマス・コミュニケーションの社会的役割の変化」
- 「ユーロの導入には、どの加盟国・集団が重要な役割を果たしたのか」



最後に

- 卒論まで時間がある今だからこそ、卒論執筆のスケジュールリングやプロセスについて意識してみましよう。
- そうすることで卒論を「つらい」から「楽しい」「充実」へ変えてみませんか？

参考文献

- 河野哲也（2010）『レポート・論文の書き方入門 第3版』慶應義塾大学出版会。
- 齊藤孝・西岡達裕（2006）『学術論文の技法 新訂版』日本エディタースクール出版部。
- 花井等・若松篤（2012）『論文の書き方マニュアル ステップ式リサーチ戦略のすすめ』有斐閣アルマ。